

2026年2月1日 実施

川崎医科大学

一般 英語



I

(1) c (2) a (3) d (4) b (5) d (6) d (7) a (8)

c

(9) a (10) b (11) c (12) a (13) b (14) b

(15) a (16) a (17) b (18) c

ss

II

(19) d (20) a (21) c (22) b (23) c (24) a

(25) b (26) d (27) b (28) d (29) c (30) d

III

(31) a (32) c (33) d (34) d (35) c (36) b

(37) d (38) a (39) c (40) b

**【講評】**

例年通り文法問題に長文2題という構成でした。標準的な知識をいかに正確に処理できるかを問う形になっており、全体としては昨年度に比べると取り組みやすく、「若干の易化」と言えます。その分高得点での争いが予想されるので、いかに見落としを避けられるかが問題になると思われま

す。

I : 例年通り文法問題の標準的なレベル。できる限り時間をかけずに解いて、長文にしっかり時間をかけたい。問7の in no way は少し考えたかもしれない。この訳は「決して諦めるように勧めているわけではなく、ただ休みなさいと言っているだけなのです。」という訳になり否定の副詞句を持ってこなければならない。また問17の Much as も悩んだ受験生も多いかもしれない。これは Although と同じ譲歩の意味をもっている。知らなくても消去法選択で導くことは可能かと思われま

II : 「アヒルの足の熱交換システム」がテーマ。物理の基礎知識は必要なものの、十分英文だけでも理解できる標準レベルでした。動脈と静脈の関係や熱移動の原理は英文をしっかり読み理解できれば解答を導くことはできます。

III : 「宝くじ当選者の孤独と真の幸福」がテーマ。物語形式で読みやすい一方、問36の語句整序 (with + O + C) の付帯状況など文法力が直接問われる設問もあり、ここで時間を取られてしま

った受験生も多いかもしれない。問 38 も heed(注意などを聞き入れる、心に留める)の単語を知っていれば簡単な問題だが、知らなくても心情を推測して解答を導くことはできると思われます。

(20)や(32)など長文に紛らわしい設問はありますが、合否に関わる点については比較的とりやすかったと思われます。7割～7割5分以上は目指したいところです。